

平成26年度当初予算（一般会計）における主要事業概要

第五次町総合計画の基本構想・前期基本計画に基づいて実施する施策及び事業のうち、平成26年度の主な事業概要は、次のとおりです。

なお、参考までに国の経済対策により平成25年度予算に措置された事業で、平成26年度に繰り越して実施する事業を、 に掲載しています。

笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川 ～地域・生活～

【新規】人権啓発施設整備事業	1,403万8千円
【拡充】防災対策事業	1,209万8千円
【拡充】消防施設整備事業	6,490万2千円
【継続】防犯対策事業	3,793万8千円

こころ安らぐ自然に育まれたまち 猪名川 ～環境・景観～

【継続】希少水生生物等保全事業	235万9千円
【拡充】公共施設照明設備LED化推進事業	1,000万円
【新規】町営住宅長寿命化計画策定	300万円

いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川 ～健康・福祉～

【継続】子ども・子育て支援計画策定	226万5千円
【拡充】子育て支援対策事業	1,347万円
【拡充】子育て家庭ショートステイ事業	77万6千円
【新規】多子誕生祝金事業	350万円
【新規】地域福祉計画等策定	400万円
【拡充】障害者（児）療育支援事業	953万1千円
【新規】保健センター改修事業	687万円
【拡充】歯科保健事業	361万3千円
【新規】後期高齢者医療人間ドック受診助成事業	32万4千円



こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川 ～教育・文化～

【新規】 幼稚園バス更新事業	6 5 4 万 6 千円
【新規】 学習サポーター派遣事業	5 4 万円
【拡充】 いじめ対策事業	3 6 0 万 9 千円
【新規】 白金小学校大規模改修事業	1, 4 3 0 万円
【新規】 中学校屋内運動場非構造部材耐震化事業	5, 5 0 0 万円
【新規】 学校給食センター施設整備事業	5 億 6, 8 5 5 万 6 千円
【新規】 スポーツセンター施設備品更新事業	4 9 8 万 1 千円
【新規】 ふるさと館維持修繕事業	1 9 9 万 6 千円

活力とにぎわいのあるまち 猪名川 ～都市・産業・観光～

【継続】 道路拡幅事業	6, 7 6 2 万 5 千円
【拡充】 公共交通対策事業	4, 4 6 2 万 8 千円
【継続】 市街化調整区域の活性化方策検討	4 1 3 万 6 千円
【新規】 耐震診断事業	2, 2 8 9 万 2 千円
【拡充】 農業用施設改良事業	2, 4 4 6 万 7 千円
【継続】 里山再生整備事業	8 3 7 万 3 千円

人びとと行政がともに歩むまち 猪名川 ～行政運営～

【継続】 第五次総合計画後期基本計画策定	5 5 8 万 2 千円
【継続】 清流猪名川ふるさと応援寄付金記念品	1 0 0 万円
【新規】 社会保障・税番号制度への対応	2, 3 0 0 万 4 千円

次ページからは猪名川町の主要事業の概要を記載しています。



笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川

～地域・生活～

まちづくりの主役である住民の活動基盤を整備するとともに、参画と協働を一層進め、安全・安心をキーワードに、犯罪が起きにくく災害に強いまちづくりに取り組みます。

人権を尊重し、すべての人がともにささえあう共生のまちづくりを推進し、人々の笑顔があふれ、豊かで快適な生活を実現するまちづくりをめざします。

人権啓発施設整備事業（新規）

1, 403万8千円

【担当：地域振興部 参画協働課】

人権・同和問題などの解決を目的として整備された木津総合会館及び清水東会館は、老朽化と地形上の課題から、両施設を六瀬コミュニティセンターに機能移転するための準備を進めていきます。

移転に伴い行政サービス機能に加え、人権啓発の拠点施設を兼ね備えた複合施設となるよう準備を進めるとともに駐車場増設用地の確保に取り組みます。

人権平和事業（継続）

350万7千円

【担当：地域振興部 参画協働課】

人権教育・啓発の推進については、「人権推進基本計画」に基づき、一人ひとりの個性が尊重され、お互いの違いを認め合い、ともに支え合う共生社会の実現のため、「人権を考える町民のつどい」や「人権教育セミナー」などを開催し、すべての人々の人権が尊重される人権文化に満ちたまちづくりをめざします。

また、恒久平和を願い、核兵器の廃絶と核実験の中止を訴えるとともに、戦没者追悼式、平和講演会や平和パネル展などを行います。

コミュニティ推進事業（継続）

603万6千円

【担当：地域振興部 参画協働課】

地域コミュニティの推進を図るため、各地域の“まちづくり協議会”の活動に対して補助金を交付します。

また、地域課題の解決に向け、引き続き住民を対象とした研修を実施することにより、地域の特色、特性を活かした、住民を主体とした課題解決型のまちづくりの実現に努めます。

防災対策事業（拡充）

1, 209万8千円

【担当：総務部 総務課】

平成25年度からの繰越事業により整備する防災情報システムについて、供用開始に向けた手続きを進めます。

また、引き続き携帯電話への緊急速報メールやいなぼうネットでの防災情報の発信をするなど災害時におけるより多くの情報伝達手段の確保に努めます。

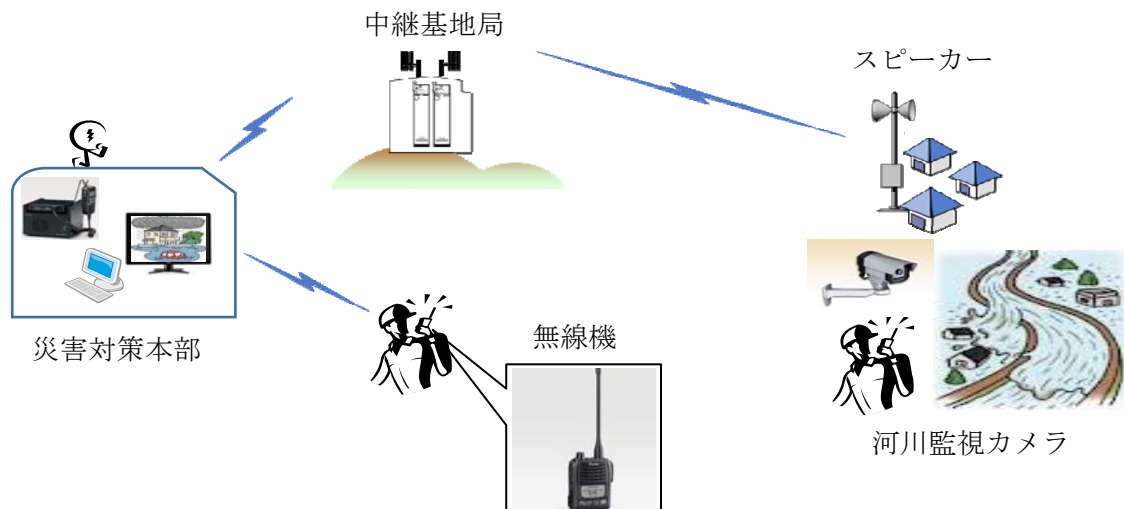
防災情報システム整備事業（平成25年度繰越事業）

8, 958万6千円

【担当：総務部 総務課】

浸水の可能性が高い地域に監視モニターやスピーカーを設置することで河川を監視し、増水時に防災情報を発信するため、防災情報システムの整備を平成26年度に繰り越して実施します。また、移動系無線も併せて整備し、災害時の職員や消防団などの通信手段として活用します。

システム全体イメージ図



救急活動・啓発事業（継続）

425万1千円

【担当：消防本部】

救命率の向上を図るため、救急隊員及び救急アドバイザーによる心肺蘇生法とAEDの取扱いを主とした救命講習を実施します。また、低年齢層である小学校高学年を対象とした短時間の講習会「救命入門コース」などを実施し、幅広い年齢層に対する応急手当の普及啓発を推進します。

救急アドバイザー事業については、引き続き自治会や子育てグループなどを対象とした出前講座において、応急手当の実施方法や救急に関する知識等の普及啓発活動を行います。



救命講習の様子

消防施設整備事業（拡充）

6, 490万2千円

【担当：消防本部】

複雑多様化する災害事象等に対応するため、水槽付消防ポンプ自動車を更新するとともに、老朽化した消防団の小型動力ポンプ付積載車を更新し、機動力及び消防力の向上を図ります。

自主防災組織育成事業（継続）

145万2千円

【担当：消防本部】

地域住民の防災意識の高揚と自主防災組織の体制強化を図るため、引き続き各自主防災組織における訓練を推進します。また、老朽化が進んでいる消防用ホース格納箱等の更新に対する助成を行い、地域における災害対応能力の強化に努めます。

防犯対策事業（継続）

3, 793万8千円

【担当：地域振興部 参画協働課】

安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、防犯灯の適正な維持管理に努めます。

昨今の犯罪は悪質化・巧妙化・低年齢化の傾向にあるため、生活安全アドバイザーを警察とのパイプ役として防犯委員及び自主防犯グループと連携を図る中で犯罪の未然防止に努め、明るく安全で住みよい地域社会づくりを推進します。

また、蛍光灯防犯灯については、引き続き計画的にLED化を進めていきます。

さらに、安全・安心なまちづくりを推進し、地域の支え合い体制づくりの促進を図るため、防犯活動の一環として地域で設置される防犯カメラの設置費用に対し補助金を交付します。

交通安全対策事業（継続）

531万1千円

【担当：地域振興部 参画協働課】

交通事故撲滅に向け、川西警察署や川西交通安全協会、町交通安全推進協議会の協力のもと、街頭啓発や小中学校での自転車の安全運転教室、幼児交通安全教室などを実施します。また、老人クラブ・まちづくり協議会においては、高齢者の交通安全教室を実施するとともに、町内の自動車教習所において、高齢ドライバーを対象としたシルバー安全運転講習会などを積極的に実施します。

児童生徒安全対策事業（継続）

1 2 3 万 5 千 円

【担当：教育委員会 学校教育課】

全国的に登下校時に子どもが凶悪事件の被害者となる事件が多数発生しているため、学校安全ボランティアの協力による登下校時の安全確保に努めます。平成25年度から阿古谷小学校の統合により新たに指定した通学路についても、地域住民とともに子どもの見守り対策を関係機関と連携して実施します。各学校では教職員を対象とした防犯訓練の実施、町立小・中学校の児童生徒全員に対する防犯ブザーの貸与及び子ども自身の防犯スキルの向上を図るため、小学校での「CAP講習会（子どもへの暴力防止を考える講習会）」を実施します。

消費者対策事業（継続）

2 5 5 万 1 千 円

【担当：地域振興部 参画協働課】

消費者行政の活性化は喫緊の課題となっていることから、これまで以上に住民に身近で相談しやすい窓口の実現のため、相談窓口の周知・啓発、相談員の資質向上に努めるとともに、複雑化、高度化する多種多様な消費者トラブルに的確に対応するため、県弁護士会や司法書士会など関係機関との連携を強化し、きめ細やかな相談支援を行います。

また、消費者トラブルの未然防止のため、近年多く発生しているトラブル事例などを交えた出前講座などの更なる充実を図ります。

国際交流事業（継続）

3 3 7 万 4 千 円

【担当：地域振興部 参画協働課】

バララット市への答礼訪問を行うなど姉妹都市との交流を深めるとともに、多面的分野にわたる国際交流の推進を図り、地域の外国人住民が安心して暮らせる多文化共生のまちづくりに努めます。

また、住民主体で実施される多文化間の相互理解と国際親善を推進する国際交流協会の活動について支援します。

こころ安らぐ自然に育まれたまち 猪名川

～環境・景観～

清流猪名川をはじめ、豊かな里山など、自然を身近に感じることができる本町のすばらしい環境の中で、都市との調和を図り、潤いと安らぎが感じられるまちづくりに取り組みます。

自然にふれあい、自然について学び、自然の尊さや自然と共生する心を育み、いつまでも季節の変化を感じられる美しい環境づくりをめざします。

希少水生生物等保全事業（継続）

235万9千円

【担当：まちづくり部 都市環境課】

環境交流館を利活用し、町内に生息する希少水生生物を中心とした環境情報を発信するとともに、環境学習の場の提供を行い、環境保全の意識啓発のための事業を展開します。



環境交流館

公共施設照明設備LED化推進事業（拡充）

1,000万円

【担当：教育委員会 生涯学習課 消防本部】

図書館開架室及び消防北出張所の照明設備について、ハロゲン照明灯及び蛍光灯の照明器具をLED化することにより、節電や有害ごみの排出減量などの環境保全対策を進め維持経費の削減を目指します。

水環境保全整備事業・環境保全事業（継続）

64万円

【担当：まちづくり部 都市環境課】

雨水利用を促進する貯留施設(タンク)設置に対する助成を引き続き実施するとともに、清掃用具の地域、グループへの貸し出しにより河川清掃活動を支援します。

また、猪名川に関する絵画展が毎年好評であるため、環境保全意識の醸成のため継続して行います。

公園緑地の維持管理（継続）**1億1万6千円****【担当：まちづくり部 建設営繕課】**

総合公園、地区公園、近隣公園等47公園及び66箇所の緑地の維持管理を行い、定期的な安全点検により公園遊具による事故を未然に防止し、適切な管理に努めます。

ごみ減量化等対策事業（継続）**1,442万3千円****【担当：生活部 住民保険課】**

再生資源集団回収奨励金制度を引き続き行うほか、公共事業で排出される生木・生草のリサイクルや住民参加、出店によるフリーマーケット等の場の提供を行います。

塵芥処理事業（継続）**9,621万3千円****【担当：生活部 住民保険課】**

ごみ収集業務について、大型ごみの有料収集など引き続き適正なごみ処理に向けた分別収集を徹底します。

町営住宅長寿命化計画策定（新規）**300万円****【担当：まちづくり部 都市環境課】**

町営住宅を長期的に維持していくため、住宅の長寿命化計画を策定し、計画的に改修や修繕を行います。また、高齢者や身体障がい者にも広く住宅が提供できるよう対策を図ります。

いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川

～健康・福祉～

高齢者や障がいのある人を地域でささえる仕組みづくりなど、安全で快適に暮らせる環境づくりを進めるとともに、町ぐるみで健康づくり活動を促進することで、いつまでも元気でいきいきと暮らせることが実感できる健康長寿のまちづくりに取り組みます。

子育て世代が安心して子どもを産み育てることのできる活力ある地域社会づくりを進め、子どもたちが本町の特色である自然環境を最大限に活かし、健やかに育つ環境づくりをめざします。

子ども・子育て支援計画策定（継続）

226万5千円

【担当：生活部 福祉課】

子ども・子育て支援の新制度が平成27年度から施行予定であり、平成25年度から2カ年をかけ、子ども・子育て支援施策を総合的に推進するための「子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

子育て支援対策事業（拡充）

1,347万円

【担当：生活部 福祉課】

子育て支援センターでは、子育ての不安や悩みを解消し、安心して子育てができるよう、子育て相談や親子が楽しく遊べ交流できる「つどいの広場」を引き続き開設します。

また、子育て支援センターを核とした相談、情報提供、広場事業等総合的な子育て支援の一層の充実を図るため、引き続き子育て支援アドバイザーによる巡回相談を実施し、地域における子育て支援のネットワーク化や子育てグループの活動に対しても支援や助成を行います。

さらに、平成26年度から子育て支援センターで乳児に絵本をプレゼントし、絵本への親しみを持っていただくとともに子育て支援センターの啓発や、利用促進を図ります。



つどいの広場での交流の様子

キッズコーナー設置事業（新規）**75万8千円****【担当：生活部 福祉課】**

保護者が各種申請・相談等で町役場に来庁の際、小さな子どもが自由に遊べるスペースを設け、手続き中の保護者負担を軽減します。

私立保育所の運営負担及び認可外保育所助成事業等（継続）**1億9,719万9千円****【担当：生活部 福祉課】**

私立保育所「星児園七夕」、認定こども園「YMCAまつおだい保育園」や「YMCAしろがね保育園」での保育の実施が円滑に行えるように、運営費の負担と特別保育事業（一時預かり事業、延長保育促進事業、地域子育て支援拠点事業など）に対する助成を行い、子育て支援の一層の推進に努めます。

また、認可保育所待機児童の解消を図る施策として、認可外保育所に入所した場合、認可保育所との保育料差額分の一部助成やその認可外保育所事業運営に対する助成を引き続き行います。

各保育所の入所児童数

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
町立保育所 猪名川保育園	6 (0)	12 (0)	18 (0)	18 (0)	25 (0)	30 (0)	109 (0)
私立保育所 星児園七夕	11 (1)	12 (1)	19 (1)	23 (2)	18 (0)	29 (1)	112 (5)
認定こども園 YMCAまつ おだい保育園	6 (4)	12 (5)	11 (7)				29 (16)
認定こども園 YMCAしろ がね保育園	9 (1)	15 (4)	24 (3)				48 (8)
計	32 (6)	51 (9)	72 (11)	41 (2)	43 (0)	59 (1)	298 (29)

* () 内は町外園児数（平成26年1月現在）

子育て家庭ショートステイ事業（拡充）**77万6千円****【担当：生活部 福祉課】**

保護者の疾病・出産・冠婚葬祭・育児疲れなど、家庭で一時的に児童を養育できなくなった場合に、児童養護施設等で1回につき1週間を限度とするショートステイ事業を利用される家庭への支援を行います。

放課後児童対策事業（継続）**7, 253万1千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

原則として、小学校低学年に在籍する児童で、保護者の就労などにより昼間家庭で保育を受けられない児童に対して、小学校等で留守家庭児童育成室を開設し、児童の健全育成を図るとともに、全ての育成室において、開室時間を午後7時まで延長します。

利用児童数の推移

年 度	児童数 (人)
平成24年度	197
平成25年度	187
平成26年度	192

多子誕生祝金事業（新規）**350万円****【担当：生活部 福祉課】**

お子さんの健やかな成長を願うとともに、急速な少子化傾向の抑制の一助となることを期待して、第3子以降を出生されたご家庭に、出産祝い金として5万円と道の駅いながわの商品券により、町内産のお米や野菜など2万円相当を贈り、次代を担う子どもの誕生をお祝いします。

乳幼児等医療費助成事業（継続）**6, 804万7千円****【担当：生活部 福祉課】**

未就学児に対する外来一部負担金無料など、引き続き小学校3年生までの乳幼児等へ医療費助成を実施します。

こども医療費助成事業（継続）**835万9千円****【担当：生活部 福祉課】**

小学校4年生から中学校3年生までを対象とした医療費助成を実施します。

県の制度改正により、対象年齢や助成の範囲が拡大され対象者が増加したため、乳幼児等医療費助成事業から別事業として実施いたします。

児童手当給付事業（継続）**5億5, 796万1千円****【担当：生活部 福祉課】**

児童手当について、法令に基づき中学校修了までの子どもを対象に、下表のとおり支給します。

児童の年齢	児童手当の額（一人当たり月額）
3歳未満	一律15,000円
3歳以上 小学校修了前	10,000円 (第3子以降は15,000円)
中学生	一律10,000円
所得制限を上回る家庭の子ども	一律5,000円

子育て世帯臨時特例給付金支給事業（新規）**5, 322万3千円****【担当：生活部 福祉課】**

消費税増税に際し、子育て世帯の影響緩和のため支給される子育て世帯臨時特例給付金について、法令に基づき、児童手当受給中の子どもを対象に、1万円を給付します。

養育医療給付事業（継続）**100万3千円****【担当：生活部 福祉課】**

未熟児は疾病にかかりやすく、経済的・精神的・肉体的な負担が大きいことから、入院中の医療費を助成します。また、未熟児の養育相談のため保健師等による訪問を行うことで、安心して出産できる環境を整え、子育てに対する負担の軽減に努めます。

妊婦健康診査費助成事業（継続）**1, 190万円****【担当：生活部 住民保険課】**

妊婦健診の費用負担の軽減を図るため、引き続き助成を行います。

地域福祉計画等策定（新規）**400万円****【担当：生活部 福祉課】**

本町の地域特性を踏まえ地域福祉を総合的に推進するため、平成21年度に定めた「猪名川町地域福祉計画」を更新します。また、3カ年計画として個別計画である「猪名川町高齢者福祉計画」、「第6期介護保険事業計画」、「第4期障がい福祉計画」の策定もあわせて行います。

シニア世代生きがづくり事業（継続）**6万4千円****【担当：地域振興部 参画協働課】**

これまでの社会で培われた経験、知識、技能等に加え、自らの人生観を気軽に幅広い世代に語りかける場として、「わたしたちのまちかど講演会」を実施し、新たな生きがづくりの支援を行うとともに、NPO法人設立支援など、広くシニア世代の生きがづくりの支援を行います。

また、食生活をめぐる環境が大きく変化したことに伴い、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病が叫ばれる中、料理を通じて健康維持と相互の情報交換を図ることを目的とした「シニア世代料理教室」を引き続き行います。

ユニバーサル推進事業（継続）**60万円****【担当：生活部 福祉課】**

県からユニバーサル社会づくり推進地区に指定された日生中央駅周辺の松尾台校区において、高齢者や障がい者、外国人など、誰もが暮らしやすい「ユニバーサルデザインのまちづくり」を進めるための取り組みを行います。

緊急通報システム運営事業（継続）**159万1千円****【担当：生活部 福祉課】**

一人暮らし高齢者（65歳以上）及び重度身体障がい者の緊急時の不安解消や安全確保などを目的とする緊急通報システム事業の運営を引き続き行います。

人生80年いきいき住宅助成事業（継続）**716万円****【担当：生活部 福祉課】**

住み慣れた地域で暮らすことを望む高齢者や障がい者が、家庭で安心して健やかに生活が送れることを目的に、引き続き一定要件の住宅改修に伴う費用の一部を助成し、在宅介護の支援に努めます。

人生80年いきいき住宅助成事業の対象

種類	対象者
一般型	・60歳以上の高齢者のいる世帯で特別型の対象とならない人
特別型	・介護保険申請者で、要支援以上の認定を受けた人 ・身体障害者手帳の交付を受けた人 ・療育手帳の交付を受けた人 ※障害状態によって対象とならない場合があります。
増改築型	・一般型及び特別型の対象者

敬老祝金（継続）**559万7千円****【担当：生活部 福祉課】**

77歳（1万円）、88歳（2万円）、100歳以上（3万円）の敬老祝金を引き続き支給し、福祉の増進に努めます。

敬老祝金の推移

（単位：人、万円）

年 度	対象者	支給総額
平成24年度実績	342	471
平成25年度見込	363	483
平成26年度予算	388	554

社会福祉協議会への補助（継続）**4,231万6千円****【担当：生活部 福祉課】**

総合福祉センターを拠点として、これまで実施してきた高齢者や障がい者に対する一体的、総合的な福祉サービスの提供や、障害者総合支援法に基づく事業所である「希望の家すばる」など、その事業運営主体となる猪名川町社会福祉協議会に対して引き続き助成を行い、本町における地域福祉の推進役として機能強化を図るための支援を行います。

障害者（児）相談支援事業（継続）**2, 305万1千円****【担当：生活部 福祉課】****（緊急雇用創出事業で計上した340万9千円を含む）**

障がい者（児）やその保護者、関係機関などからのあらゆる相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための援助を行うことにより、自立した日常生活、社会生活の向上を図ることを目的として相談支援センターを設置しています。また、障害者就労支援センターでは、障がい者の就労に係る相談、実習訓練のほか、障がい者雇用の啓発等を行うことにより、一人でも多くの障がいのある人が就労の場や機会を得られるよう努めます。

心身障害者（児）支援事業（継続）**2億5, 131万1千円****【担当：生活部 福祉課】**

障害者総合支援法に基づく介護給付費等の支給を行い、生活介護や就労支援など日中活動サービスの充実を図り、障がいのある人の自立と社会参加の促進など、生活支援に努めます。

心身障害者（児）福祉金（継続）**1, 503万円3千円****【担当：生活部 福祉課】**

障害者（児）福祉金を支給することにより、経済的負担の軽減を図り、障がい者福祉の向上に努めます。

障害者（児）療育支援事業（拡充）**953万1千円****【担当：生活部 福祉課】**

主に障がい児童を対象とした療育訓練事業（理学療法・作業療法・言語療法）について、訓練実施の日数を週3日から週4日に拡充するとともに、より良好な訓練環境を整えるための機材の購入を行い、早期療育支援体制の充実に努めます。

いながわ健康・医療相談ほっとライン24（継続）**239万1千円****【担当：生活部 住民保険課】**

年中無休、24時間体制での病気やケガ、メンタルヘルスなどの医療に関する住民の不安や疑問に、医師・看護師・保健師が相談料・電話通話料無料で対応する「いながわ健康・医療相談ほっとライン24」を専門機関に委託して引き続き実施するとともに、住民のさらなる利用促進のために定期的な啓発に努めます。

保健センター改修事業（新規）**687万円****【担当：生活部 住民保険課】**

保健センターの屋根が経年劣化により防水機能が低下しているため、陸屋根部と玄関庇部について防水改修工事を行い適正な維持管理に努めます。

健康福祉まつり開催補助金（継続）**200万円****【担当：生活部 住民保険課】**

住民の健康づくり意識の高揚と福祉施策や福祉関係団体の活動などの紹介、並びに各種の情報提供を目的とし、社会福祉協議会との連携のもと、引き続き、健康福祉まつりを開催します。

地域健康づくり組織支援事業（継続）**21万円****【担当：生活部 住民保険課】**

住民自らによる健康づくりを推進するリーダーである「健康づくり支援員」による地域に根ざした実践活動をサポートし、各自治会やまちづくり協議会などにおいて、取り組む地域ぐるみでの健康づくり推進活動の支援に努めます。

健康診査・検診事業等（継続）**9,708万5千円****【担当：生活部 住民保険課】**

糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施し、生活習慣病の予防・改善に努めます。また、特定の年齢層に対して、子宮頸がん及び乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を送付し、受診促進とがん等の早期発見、健康意識の普及・啓発に努めます。

後期高齢者医療人間ドック受診助成事業（新規）**32万4千円****【担当：生活部 住民保険課】**

健康の保持増進に寄与するため、新たに75歳以上の高齢者の方を対象に、人間ドックの受診に対する助成を行います。

歯科保健事業（拡充）**361万3千円****【担当：生活部 住民保険課】**

“生涯自分の歯で食べられること”を目標に、30歳から70歳までの5歳刻みの節目年齢の方を対象とした成人歯科検診と、歯と口腔の健康が妊娠期の母子に与える影響と乳幼児期からの口腔衛生の必要性を認識してもらうための妊婦を対象とした妊婦歯科検診を引き続き実施するとともに、歯科相談を開設し、歯科保健の普及と推進に努めます。

感染症対策事業（継続）**6,191万9千円****【担当：生活部 住民保険課】**

疾病の発生予防により住民の健康増進を図ることを目的に、不活化ポリオ・四種混合ワクチン、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種や高齢者インフルエンザなどの予防接種事業を引き続き実施します。

また、感染症状の重篤化が懸念される基礎疾患を有する高齢者に対し、経済的負担の軽減と感染予防のため、肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を助成します。

臨時福祉給付金支給事業（新規）**8,490万6千円****【担当：生活部 福祉課】**

平成26年4月に消費税率が5%から8%へ増税されることに伴い、低所得者ほど生活に必要不可欠な食糧品の消費支出割合が高いことから、町民税均等割非課税者を対象に一人につき1万円を、老齢基礎年金などの受給者には、一人につき5千円を加算して支給いたします。

こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川

～教育・文化～

住民が生涯を通じて学ぶことのできる環境を整えるとともに、子どもたちが豊かな自然環境や独自の歴史・文化のもとで、思いやりの心や豊かな人間性、自ら考え自ら学ぶ力を育てるまちづくりに取り組みます。

だれもがいつでも、気軽に学ぶことができるよう、情報を提供し、機会や場を設け、人材を育てるなど環境整備を進め、文化・歴史の保存と活用により、「ふるさと猪名川」を次世代へ継承しながら、住民の創意工夫による新たな文化の創造をめざします。

私立幼稚園就園奨励事業（継続）

3, 439万7千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

就学前幼児の幼稚園教育の振興を図るため、3歳児から5歳児までの私立幼稚園に通園する園児を対象に助成し、保育料等の負担軽減を行います。

助成園児数の推移

年 度	園 児 数 (人)		
	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
平成24年度実績	127	139	132
平成25年度見込	148	130	112
平成26年度見込	143	120	130

幼稚園バス更新事業（新規）

654万6千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

町立幼稚園の通園バスは、園児の安全な通園のために、老朽化しているバスを平成26年度に1台更新します。

学習サポーター派遣事業（新規）

54万円

【担当：教育委員会 学校教育課】

平成25年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」及び町教育委員会が実施している「学習到達度調査」の結果を踏まえ、学力に課題のある小・中学校に「学習サポーター」として地域の人材を派遣し、児童生徒の基礎学力の確実な定着や学習意欲の向上を図ります。

学校図書館への学校図書館司書配置事業（継続）

999万2千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

小・中学校で図書館教育の専門的な取組を推進するため、県の配置対象とならない12学級未満の学校についても町単独で学校図書館司書を配置することにより、読書指導の充実に加え、各教科等における図書館資料の活用を通して、自ら学び自ら考える学習を支援する学校図書館としての機能充実に努めます。

情報教育の充実（小・中学校）（継続）

3,281万9千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

わかりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、授業においてICT（情報通信技術）を効果的に活用できるように、小・中学校パソコン教室の情報機器、教師用パソコン及び各学校と教育委員会を結ぶ学校LANの維持・保守を行います。

また、校務支援システムを有効利用し、事務の効率化を図ることにより、教員と子どもたちと向き合う時間を確保し、教育活動の充実に努めます。

小児生活習慣病予防対策事業（継続）

56万2千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

小学校4年生と中学校2年生を対象に生活習慣に関するアンケート調査を実施し、学校、家庭、地域、医療機関等と連携しながら早い時期からの効果的な生活習慣病の予防対策が行えるよう努めます。

特別支援教育の推進（継続）

1,541万3千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

障がいのある子どもたち一人ひとりのライフサイクルを見通し、教育的ニーズを把握し、適切な教育的支援を行うため、教育相談や幼稚園、小・中学校への巡回相談を実施します。ADHD（注意欠陥多動性障害）等により、行動面で課題のある児童生徒が在籍する小・中学校に配置するスクールアシスタントについては、小学校への全校配置を実施するとともに、兵庫教育大学大学院生による学校支援を行い、学校・園における特別支援教育の質の向上を図ります。また、フォーラムを開催するなどして、地域住民や学校・園教職員への特別支援教育に対する啓発を行います。

いじめ対策事業（拡充）

360万9千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

いじめ、不登校、児童生徒の問題行動等に適切に対応するため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーを引き続き未配置の小学校に派遣し、子どもたちや保護者の心の相談に当たるとともに、教職員のカウンセリングマインドを高めることにより、教育相談体制の充実に努めます。

中学校においては、教育心理検査として個人・学級診断アンケートを年2回実施することにより、学級の現状分析を的確に把握し、分析結果をもとに、適切な教育相談や支援に努めます。

また、幼児児童生徒の立場になって考え、学校・幼児児童生徒・保護者と関係機関を円滑につなぐ役割を担うスクールソーシャルワーカーを学校・園に配置・派遣し、いじめ、不登校、児童虐待等の問題解決に取り組みます。

教育研究所事業（継続）

1,323万8千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

教育研究所においては、教職員の指導力の向上に向けた研修の充実を図るとともに、不登校児童生徒の学校復帰を支援するための適応指導教室「STEPいながわ」と、いじめ問題への対応や保護者の子育てを支援するため、カウンセラーによる教育相談の充実を図ります。

わくわくスクールプラン2推進事業（継続）

351万9千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

猪名川町教育基本計画に基づき、「確かな学力」の向上、「豊かな心」及び「健やかな体」の育成のため、中学校区ごとに就学前教育から中学校までの子どもたちや教職員の交流・連携を一層促進し、指導方法の工夫・改善に関する研究を中心とした強固な連携とゆるやかな一貫性のある教育を推進します。

学習到達度調査事業（継続）

99万3千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

町内の中学2年生と小学5年生を対象に学習到達度及び生活意識調査を実施し、分析結果をもとに学習及び生活指導上の課題を明確にすることにより、指導方法の工夫・改善を図り、児童生徒の学力の向上に努めます。

白金小学校大規模改修事業（新規）**1, 430万円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

白金小学校は、平成5年に開校してから20年以上が経過しており、大規模改修事業を実施します。平成26年度は改修工事の実施設計を行います。

猪名川中学校大規模改修事業（平成25年度繰越事業）**1億2,300万円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

平成25年度に猪名川中学校でトイレ改修工事、屋根・外壁改修工事を大規模改修事業の第Ⅰ期分として実施しました。引き続き、一体的な改修工事の第Ⅱ期分として内装改修工事（天井、内壁、床改修）を平成26年度に繰り越して実施します。

中学校屋内運動場非構造部材耐震化事業（新規）**5,500万円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

東日本大震災の教訓に基づき、国の指針により平成27年度までに学校体育館と柔剣道場の吊り天井や照明器具などの非構造部材耐震化事業を行います。平成26年度は中谷中学校の柔剣道場、猪名川中学校の体育館と柔剣道場の改修工事を行います。

学校給食センター施設整備事業（新規）**5億6,855万6千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

平成25年度より事業着手している新学校給食センター整備事業について、平成26年9月より新施設において学校給食を開始します。

また、アレルギーマニュアル等の準備が整い次第、食物アレルギーの子どもたちにアレルギー対応食の提供を実施します。

**学校支援地域本部事業（継続）****206万4千円****【担当：教育委員会 学校教育課】**

地域全体で学校教育を支援するため、学校支援ボランティアの人材バンクを整備、活用し学校と地域との連携体制を構築し、専門的な知識・技能を持った人材の参画により、学習支援などの学校支援活動を展開します。

猪名川町生涯学習カレッジ「リバグレス猪名川」（継続）**90万円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

豊かな人間性の形成や自己実現のための学習を支援するため、生活や地域に密着したテーマ・現代的課題について、住民がより深く学べる機会の提供を目的として、リバグレス猪名川を開講します。

青少年健全育成事業（継続）**709万円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

青少年問題協議会を中心に、青少年指導員会や青少年健全育成推進会議等の関係団体の横断的な連携を強化することで多くの情報を共有し、不良行為・問題行動の早期発見と未然防止、有害環境の浄化に努め、次代を担う青少年の健全育成を推進します。

また、青少年団体及び地域の若者を中心とし、「産・官・学・民」の連携協力を新たに構築し、様々な視点から「青少年の健全な育成」に関する施策の充実に努めるとともに、若者の自主性を助長する事業に取り組みます。

学校プール開放事業（継続）**630万7千円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

夏休みの一定期間中、小学校プールを開放し、児童を含めた地域住民の健康増進とコミュニティ醸成の場として利活用を図ります。

また、プール監視業務を警備会社に委託し、より安全な運営管理に努めます。

スポーツセンター施設備品更新事業（新規）**498万1千円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

老朽化したサッカーゴールなどの大型スポーツ用品を取り替え、スポーツ活動の環境改善に努めます。

文化財総務事務事業（継続）**494万2千円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

各種法令等に基づき、指定文化財の保存・保護を行うとともに、文化財を次世代に継承してまいります。

また、銀山地内における文化財調査については、平成25年度までに実施した大坂口番所跡、本町対岸遺跡及び金懸間歩群の調査成果を概要書にまとめるとともに、企画展や調査発表会を実施し広く啓発し、さらに地域住民と協議する中で、将来的な活用方針を検討します。

ふるさと館維持修繕事業（新規）**199万6千円****【担当：教育委員会 生涯学習課】**

ふるさと館に隣接する芝生広場への通路舗装が経年劣化により剥離し、不陸修繕が必要なことから、部分的に路面補修を行い、利用者の安全性と利便性の向上に努めます。

また、ふるさと館の木柱名板が著しく劣化していることから、新たな看板を設置します。

活力とにぎわいのあるまち 猪名川

～都市・産業・観光～

暮らしと経済をささえる都市基盤の充実と多様な産業の発展を推進し、活力とにぎわいのあるまちづくりに取り組みます。

地域資源を活かした産業振興を図るため、農林業・商業・観光産業などの有機的な連携により「いながわブランド」の創出をめざすとともに、それらを町内外へ発信することにより、暮らす人、訪れる人にとって魅力あるまちづくりをめざします。

道路維持補修事業（継続）

9, 869万2千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

道路交通の円滑化と安全・安心の確保を目的として、道路施設の計画的な維持補修に努めます。実施する主な事業は、伏見台地区道路照明灯修繕工事、猪名川町舗装修繕計画に基づき、町道若葉2号線ほかにおいて舗装の打ち替えを行います。

道路維持補修事業（平成25年度繰越事業）

1億5, 803万8千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

町道阿古谷民田線落石防止工事、道路構造物の点検等について、平成26年度に繰り越して実施します。

都市計画道路原広根線新設改良事業（継続）

7, 076万円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

新名神高速道路の供用開始が平成28年度に予定される中、町内交通体系を見直すとともに、都市計画決定済の原広根線について、パークタウン交差点までの延長約280mの整備を進めます。

道路拡幅事業（継続）

6, 762万5千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

新名神高速道路事業の進捗に合わせて、引き続き町道広根6号線の整備を進めます。また、町道広根猪淵線の拡幅など地域の実情に応じて整備を進めます。

橋りょう維持補修事業（継続）**1, 206万円****【担当：まちづくり部 建設営繕課】**

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、町が管理する橋りょうの計画的な維持補修に努めます。平成26年度は緊急性の高い火出し橋、紫合橋側道橋、長田橋の実施設計を実施します。

橋りょう維持補修事業（平成25年度繰越事業）**4, 353万5千円****【担当：まちづくり部 建設営繕課】**

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、緊急性の高い仁頂寺垣内橋、大出橋、清水山添橋の実施設計と修繕工事を平成26年度に繰り越して実施します。

公共交通対策事業（拡充）**4, 462万8千円****【担当：企画部 企画財政課】**

町内循環バス（ふれあいバス）の運行については、住民の身近な移動手段として、より一層の利用促進を図るとともに、利用状況等の把握に努めるとともに、老朽化したバス車両1台を更新し、快適な走行に努めます。

また、すべての人が利用しやすい公共交通を目指し、民間バス事業者におけるノンステップバス導入に対する助成を引き続き行います。

**市街化調整区域の活性化方策検討（継続）****413万6千円****【担当：まちづくり部 都市環境課】**

町南部地域の市街化調整区域の活性化については、主要幹線道路の沿道（市街化調整区域）に着目し、地域の意見を聞きながら、地域の活性化に向けて取り組みます。

また、大規模町有地については、差組・肝川地区を産業拠点地区として、旧日生2次開発予定地を文教拠点地区として、それぞれ位置付け、企業や教育施設の誘致ができるよう取り組みます。

耐震診断事業（新規）**2, 289万2千円****【担当：まちづくり部 都市環境課】**

建築物の耐震改修の促進に関する法律により、不特定多数の者が利用する建築物及び避難弱者が利用する建築物のうち大規模なもの等について、平成26年度～27年度の間で耐震診断の実施や診断結果の公表などが義務付けられることになりました。これに併せ、町内対象建築物の耐震診断に対して補助制度を創設し、耐震化の促進及び安全安心のまちづくりを推進してまいります。

産地形成振興対策事業（継続）**700万5千円****【担当：地域振興部 産業観光課】**

地場産農産物の安定供給に必要な農家への営農・技術指導について、JA兵庫六甲・阪神農業改良普及センターなどとの連携を図り、安心・安全な猪名川町産の農産物の供給を図るとともに、農産物の周年出荷を推進するため、パイプハウスの設置に対する支援を引き続き行います。

また、水稻の生産調整、遊休農地防止対策として、本町が推進する転作作物、景観作物である“そば”の栽培に対し支援を行います。

中山間地域の保全施策（継続）**930万2千円****【担当：地域振興部 産業観光課】**

農地が急傾斜地など一定の生産条件不利地にある地域（原・槻並・西畑・柏原）に対して、引き続き中山間地域等直接支払制度により農地の保全と活用に努めます。

農地・水・環境保全向上対策事業（継続）**194万3千円****【担当：地域振興部 産業観光課】**

農業従事者の減少、高齢化、耕作放棄地の増大等、農業・農村が危機的状況にあることから、地域ぐるみ又は農業者ぐるみ等多数の人々により地域資源の適切な管理活動を行い、自然環境の保全、良好な景観形成等農地のもつ多面的機能の維持・発揮へつなげる事業を継続実施します。また、主作物栽培前に緑肥等により地力増進に取り組む地域に対し、引き続き環境保全型農業直接支払交付金により、肥沃な農地の形成を支援します。

農業用施設改良事業（拡充）**2,446万7千円****【担当：地域振興部 産業観光課】**

安定的な農業経営や安全・安心な農村生活の実現のためには、効果的な防災・減災対策を講じる必要があることから、現在予測されている大規模地震や想定を上回る豪雨による、ため池の決壊、老朽化などによる機能低下が懸念されるため、ため池の耐震診断と一斉点検を行うとともに老朽ため池の改修を行い、災害の未然防止に努めます。

里山再生整備事業（継続）**837万3千円****【担当：地域振興部 産業観光課】**

豊かな森林環境を里山として後世に残していくため、「里山再生基本構想」に基づき、引き続きしいたけ原木伐採奨励助成事業や竹資源循環利用事業、植林事業に対する支援を行い、森林を地域資源として再評価し、森林所有者が森林資源を伐採・搬出するとともに、その木質資源の利用に向けた仕組みの構築に向け取り組みます。

また、循環型社会の一助となる木質バイオマスの需要拡大及び普及啓発を目的に、公共施設にペレットストーブ2台の設置を行います。また、多くの人に里山再生の取り組みに参画していただくため、引き続き一般家庭及び事業所におけるペレットストーブや薪ストーブ設置に対し支援を行います。

大野山管理運営事業（継続）**1,192万3千円****【担当：地域振興部 産業観光課】**

大野アルプスランドについては、指定管理者（柏原生産森林組合）や天文台運営委員会と連携し、さらなる魅力ある施設運営に努めます。また天文台を落雷の被害から守るため、避雷針設置に向け調査委託を行います。

いながわ桜まつり支援事業（継続）**330万円****【担当：地域振興部 産業観光課】**

「2014いながわ桜まつり」を支援し、町の活性化や観光PRを行います。町道原広根線（原交差点～上田尻橋）1.2kmを歩行者専用道路とし、より安全で快適なイベントを目指します。また、地元農家より周辺農地を菜の花畑として協力いただき、多くの地域住民ボランティアのもと、イベントを盛り上げます。昨年は荒天により中止となりましたが、その対策として本年は順延する経費を計上し、天候によるリスク軽減に努めます。

開催日 平成26年4月5日(土)

悪天候の場合は4月6日(日)に順延

場 所 町道原広根線

ライトアップ 平成26年4月1(火)～13日(日)

自然歩道管理事業（継続）**335万4千円****【担当：地域振興部 産業観光課】**

身近な自然や多田銀銅山跡などの歴史とふれあえる近畿自然歩道を安全に通行できるよう管理するとともに、万善・銀山・下阿古谷の各公衆トイレを含めた適切な維持管理に努めます。

観光高揚事業（拡充）**333万9千円****【担当：地域振興部 産業観光課】**

本町の歴史・文化・自然を町内外に広く啓発するための施設、多田銀銅山悠久の館や歴史街道などを基点として活動している観光ボランティアガイドがより魅力ある案内を行えるようコースごとのリーフレットを作成するとともに、本町の貴重な自然と歴史を、四季を通じて満喫してもらえるハイキング等の実施や誘致にも力を入れ、観光誘客に努めます。また、本町の特産品及び新鮮野菜を提供するとともに観光客の休憩施設となっている道の駅いながわの施設営繕に向けた実施設計を行います。

緊急雇用創出事業（継続）

470万3千円

【担当：地域振興部 産業観光課】

厳しい雇用失業情勢にかんがみ、緊急雇用就業機会創出基金を財源とし離職を余儀なくされた非正規労働者、高齢者等の失業者に対して、企業等で就業するために必要な知識、技術を習得させるための人材育成事業を行います。

【障害者相談支援事業】（福祉課）

340万9千円

障害者（児）相談支援センターにおいて、サービス等利用計画の作成補助、地域の障害福祉サービス事業所や学校等の関係機関との情報交換等を行います。

【高齢者地域就業促進事業】（福祉課）

129万4千円

シルバー人材センターにおいて、地域の求職者を雇用し、事業所訪問等により、民間企業や一般家庭などの就業機会を確保し、地域の高齢者の就業支援に努めます。

人びとと行政がともに歩むまち 猪名川

～行政運営～

行財政改革などによる効率的な行政運営と中長期的な視点の行政経営に取り組むとともに、行政情報の提供と情報公開を充実させ、住民とのパートナーシップをさらに高めるためのまちづくりに取り組みます。

地域の特性を活かした政策立案や住民とともに課題解決に取り組むため、町職員の意識改革を図り、政策形成能力や企画調整能力などの資質向上、住民ニーズに対応できる人材の育成に努めます。

町ホームページのリニューアル（新規）

54万円

【担当：企画部 企画財政課】

町ホームページにおいて、5年ぶりのリニューアルに向けて取り組むとともに、SNSなどを活用し、災害時の情報取得にも対応した誰もが見やすく利用しやすいものとなるよう、内容の充実に努めるとともに、本町の地域資源を魅力的に町内外に発信していきます。

第五次総合計画後期基本計画策定（継続）

558万2千円

【担当：企画部 企画財政課】

まちづくりの指針となる第五次総合計画後期基本計画については、平成25年度に実施したまちづくりアンケートやいながわ未来創造交流会の結果をはじめ、前期基本計画の検証を踏まえ、総合計画審議会での審議を経て、計画を策定します。



いながわ未来創造交流会の様子

清流猪名川ふるさと応援寄付金記念品（継続）

100万円

【担当：企画部 企画財政課】

本町の知名度向上と愛着を深めていただくため、清流猪名川ふるさと応援寄付金のさらなる啓発を実施します。「ふるさと納税」により1万円以上の寄付をしていただいた町外の方へ、ボタン鍋セットや旬の野菜、そばなど、特産品をお礼として贈呈し、本町の魅力を伝えます。



ふるさと宅配便
(例：ボタン鍋セット)

地籍調査事業（継続）

4,054万円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

正確な土地の測量を実施することにより、土地の正しい位置、形、地番及び地積を明らかにし、総合的な土地政策を推進する基礎データを作成するために地籍調査を実施しています。平成26年度は、木津上地区、木間生地区及び朽原地区の現地調査を実施します。

社会保障・税番号制度への対応（新規）

2,300万4千円

【担当：企画部 企画財政課】

現在国において進められている社会保障・税に関わる番号制度は、複数の機関に存在する特定の個人の情報を同一人の情報として確認を行うためのものであり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤であるため、本町においても対応するシステムの導入作業を進めます。